

No	薬 剤 名	判 定 結 果
22	N-301 粒	田植後茎葉兼土壌処理で適用性がある。(ノビエ20ℓころ) 製剤検討が必要。(適2実施中)
23	SW-741 粒	混合剤(混合薬剤, 混合比)について更に検討が必要である。
24	S-64X 粒	混合比の検討が必要である。
25	TH-63 (Na) 粒	田植後茎葉兼土壌処理で適2に移す。(ノビエ2.5ℓころ)

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農林省農蚕園芸局植物防疫課

昭和49年6月1日～10月31日

分類	種類名	商品名	有効成分の種類 及び含有量	剤 型	適用作物 ・ 適用場所	適 用 雑 草	適用地帯	適 用 土 壌	使用時期	10アール当り			使用方法	登録会社
										使用量	散 液	布 量		
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤	シメト リン・ ブタク ロール 除草剤	マーシ エット S	2-クロロ- 2',6'-ジエ チル-N-(ブトキシ メチル)ア セトアニリ ド 4.0%	粒 剤	普通移植 水 稲	ノビエ 等水田 1年生 雑草及 びマン バイ	全域の普 通期及び 早期栽培 地帯	砂壤土 ～埴土 (縦浸 透2cm /日以下)	田植後7 ～15日 (ノビエ 2.5葉期 まで但し 寒地は2 葉期まで)	3～ 4kg			湛水のま ま手まき あるいは 散粒機で 水面に均 一に散布 する。	三菱モン サント 三菱化成 三 共 北海三共 日本農薬
			2-メチルチ オ-4,6- ビスエチル アミノ-S -トリアジ ン 1.3%		稚苗移植 水 稲				田植後8 ～12日 (ノビエ 2葉期ま で)					
									田植後2 0～25日 ノビエ2 葉期まで 田植前後 の初期除 草剤によ る土壌処 理との体 系で使用					

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用 雑 草	適用地帯	適用 土 壤	使用時期	10アール当り			使用方法	登録会社
										使用量	散 液	布 量		
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤	ベノキ サゾー ル・シ メトリ ン除草 剤	ウイセ ットS	2-(2-クロ ロルベンジ ルチオ)- 5-プロピ ル-1,3,4 -オキサジ アゾール 5.0% 2-メチルチ オ-4,6- ビスエチル アミノ-S -トリアジ ン 1.5%	粒 剤	水 稲 (普通移 植栽培)	ノビエ 等の水 田1年 生雑草 及びマ ツバイ	北海道を 除く全 域の普 通期及 び早期 栽培	壤土～ 埴土 減水深 (2cm /日以下)	田植後7 ～12日 (ノビエ の発生 始期から 2葉期まで)	3～ 4kg			湛水散布 (茎葉兼 土壌処理)	武田薬品 工業
					水 稲 (稚苗移 植栽培)		関東・東 海以北		田植後8 ～12日 (寒冷地 では15 日) (ノビエ 発生始期 から2葉 期まで)					
	ダイム ロン除 草剤	ショウ ロン粒 剤	1-(α,α - ジメチルベン ジル)- 3-(パラ トリル)尿 素 7.0%	粒 剤	水 稲 普通移植 栽培及び 稚苗移植 栽培	ホタル イ マツバ イ	寒地・寒 冷地 (東北、 北陸以北)	壤土～ 埴土 減水深 2cm/ 日以下	田植後3 日～7日 ホタルイ ・発生前 ～1葉期 マツバイ ・発生前 ～発生始 期	3～ 4kg			土壌処理 湛水散布	昭和電工
	シブラ ジン除 草剤	アウト ホック ス	2-クロロ- 4-シクロ プロピルア ミノ-6- イソプロピ ルアミノ-S -トリアジ ン 12.8%	水和 剤	とうもろ こし	畑作1 年生雑 草	北 海 道	全土壌	播 種 前 播種直後 4～5 葉期	650～ 1,000 cc 400～ 650 cc	100ℓ		散布(土 壌処理) 後土壌混 和 ※本剤 及びシ ブラジ ンを含 む農薬 の総使 用回数 1回 以 内	東陽通商 日本曹達
		日曹ア ウト ホック スフロ アブル					本州、四 国 [南四国の 暖地を除 く]		播種直後	650～ 800 cc				
	シプロ ミッド 除草剤	クロッ パー乳 剤	N-(3,4- ジクロロフ エニル)シ クロプロバ	乳 剤	かんきつ (みかん 園)	メヒシ バを主 体とする 1年	全 域	全土壌	つゆあけ の夏草生 育期(30 cm位)	2ℓ	200～ 300ℓ		散 布	東陽通商 日本曹達

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用 雑 草	適用地域 適 用 土 壌	使用時期	10アール当り			使用方法	登録会社
									使用量	散 液	布 量		
非 ホル モン 型 除 草 剤	(つづき)		ンカルボキ サミド 20.0%		生下草 雑草			収穫60 日前まで				※本剤 及びシ プロミ ドを 含有す る農薬 の総使 用回数 1回 以 内	
					麦 (水田裏 作)	スズメ ノテッ ボウを 主体と する1 年生雑 草	排水良好 な不整地 播地帯	稲刈とり 後から作 畦播種前 まで [スズメノ テッボウ の2~4 葉期まで]	1~ 1.5ℓ		100ℓ		

植調協会だより

◎ 第10回常任評議員会・評議員会開催す

昭和49年9月25日、東洋信託銀行虎の門支店第2会議室(東京都港区赤坂)において開催した。常任評議員会・評議員会の開催にあたり、楠引大吉(兼商)氏が議長に選任された。

(1) 常任評議員の交代：武田薬品、塩野義製薬、が辞任、日本チバガイギー、三井物産、日産緑化が就任した。(2) 評議員会費：昭和50年度の評議員会費を3~100万円に改訂する件につき審議し、原案通り可欠された。つづいて、①昭和48年度事業報告および決算報告、②昭和49年度事業計画および予算、③各種記念事業の開催、④新研究所の設立について、吉沢常務理事より報告された。

◎ 植調新研究所の発会式および記念式典の開催日程

開催日：昭和49年12月14日(土)

場 所：植調研究所(茨城県稲敷郡牛久町)

◎ 昭和49年度春夏作関係(水稻・畑作)除草剤地域検討会開催日程

地 域 名	開 催 月 日	場 所
関東・東山 ・東海	昭和49年 10月30日 ~11月1日	黎科グランドホテル (長野県茅野市)
近畿・中国 ・四国	11月6日 ~7日	石原ビル (大阪市西区江戸堀上通)
九 州	11月12日 ~14日	天神ビル (福岡市中央区天神)
北 海 道	11月19日 ~22日	北海道農試 (札幌市豊平区羊ヶ丘)
東北・北陸	11月26日 ~28日	労働福祉会館 (仙台市上杉)

◎ 昭和49年度春夏作関係(水稻・畑作)除草剤、生育調節剤中央検討会開催日程

開催日：昭和49年12月10日~13日

場 所：農林年金会館(東京都港区芝西久保巴町36-1)

◎ 昭和49年度春夏作芝生関係除草剤試験成績検討会開催日程

開催日：昭和49年11月12日

場 所：虎の門共済会館(東京都港区赤坂葵町)